

水戸済生会総合病院を受診・入院された患者様

当院は下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせにお問い合わせください。

研究課題名	PICC 自己抜去の要因分析 ～身体拘束のない質の高い看護を目指して～
研究責任者	加藤 彩光
研究の目的	末梢静脈カテーテルの確保が困難な患者様に、中心静脈カテーテル(CV)より穿刺のリスクが低い、末梢挿入型中心静脈カテーテル(PICC)を挿入する患者様が増えています。しかし自己抜去による身体的リスクが高いことから、自己抜去リスクが高い患者様には予防的に身体拘束を実施している現状があります。PICC 挿入患者に身体拘束のない質の高い看護を提供するために、PICC 自己抜去の要因を分析します。
調査データの該当期間	令和2年4月より令和3年9月まで
研究の方法(研究対象者)	令和2年4月より令和3年9月までに3南病棟に入院しPICCを挿入した患者様
研究の方法(研究のデザイン)	電子カルテによる後ろ向きコホート研究
研究の方法(使用する情報)	・患者背景:年齢、性別、認知症・精神疾患の有無、抗不安薬・向精神薬の使用の有無 ・PICC 関連:PICC 挿入目的、挿入部位 ・アクシデント関連:自己抜去の有無、自己抜去の時間帯、抑制帯の使用
個人情報の取り扱い	使用する情報から対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は院内・院外発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
利益相反	臨床研究における利益相反(COI: Conflict of Interest)とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断に歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬会社や医療機器メーカーからの研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。 なお、本研究の利益相反については倫理委員会で審査され、適切に管理されています。
問い合わせ先	水戸済生会総合病院 〒311-4198 茨城県水戸市双葉台3丁目3番10 TEL:029-254-5151(代) 研究責任者 3階南病棟 看護師 加藤彩光、小林理恵子